

左義長	どんど焼き崩るるばかり崩れたり どんどの火崩るるばかり崩れたり どんど火の崩れむばかり崩れたり どんどの火崩れむばかり崩れたり	2016. 5. 26	左義長	火もまた涼しどんどの中の達磨かな 火もまた涼しと達磨の燃ゆるどんどかな 火もまた涼しと達磨どんどの火中かな 火もまた涼しとどんどの中の達磨かな 火もまた涼しと達磨火を噴くどんどかな 火もまた涼しと達磨どんどの火の中に 火もまた涼しと達磨どんどの中に座す 火もまた涼しとどんどの中のだるまさん	2022. 11. 11 2022. 11. 12
	火の鳥の幾つ飛び行くどんどかな 大いなる火の鳥の翔つどんどかな 火の鳥の大いなるかな吉書揚 火の鳥の天に消え行く吉書揚	2018. 7. 16 2018. 9. 22		火もまた涼しとどんどの中の達磨さん 達磨さん火もまた涼してふどんど 達磨さん火もまた涼しとどんど焼 達磨さんどんどの火こそ涼しけれ 達磨さんどんどに焼かれ涼しいか 火もまた涼しとどんどに燃ゆる達磨さん 火もまた涼しとどんどに炎ゆる達磨さん	2022. 11. 16 2023. 1. 10
	引潮に乗つてどんどの残りもの 引潮に乗せてどんどの残りもの 引潮に乗せてどんどの余りもの 引潮に乗せてどんどの燃え残り 引く波に乗つてどんどの火屑かな 星空にどんどの灰の舞ふばかり 引潮に乗つてどんどの屑や灰 引く波に乗つてどんどの屑や灰 波音にどんどの灰の舞ひ上る 波音にどんどの灰の舞ひ落ちる 波音にどんどの灰の舞ひ落ちぬ 波音にどんどの灰の舞ひ降りぬ 波音にどんどのを終へし灰の降る 波音にどんどの灰の降ることよ 波音にどんどの灰の吹かれくる 波音にどんどの灰の降るばかり 波音にどんどの余塵降るばかり 波音にどんどの余塵ふるばかり 波音にどんどの余塵ふることよ	2022. 11. 7 2022. 11. 11 2023. 1. 12 2023. 1. 13		消防車真つ赤に映ゆるどんど焼 消防車真つ赤に映ゆるどんどかな 一切を火に任せたるどんどかな 一切は火の成すままにどんどかな 一切は火の成すままにどんど焼 人の手を離れて燃ゆるどんどかな 人の手を離れて赤きどんどかな 人の手を離れてよりのどんどかな 砂浜や一のどんどと二のどんど 一の二の三のどんども皆燃ゆる 一の二の三のどんども星空へ 一の二の三のどんども燃え落る 一の二の三のどんども燃え崩る	2022. 11. 11 2022. 11. 11 2023. 1. 12 2023. 1. 14 2022. 11. 11 2022. 11. 11 2023. 1. 13 2022. 11. 11 2022. 11. 11 2023. 1. 12
				青竹の誉れ左義長仕る 青竹の誉れ左義長つかまつる 青竹のほまれ左義長つかまつる 青竹の囲むもろもろどんど焼 飾焚く前のもろもろ積み上げて 飾焚く前の飾りを積み上げて 乱雑に積れしものにどんどの火 青竹に焚くべき飾り積み上げて 左義長の青竹その他雪の上 左義長を高く積み行く雪の上 左義長の青竹その他雪に組む	2022. 11. 11 2022. 11. 11 2023. 1. 12

左義長	正が月が春が飛び行く吉書揚	2022. 11. 16	左義長	ふく風にまだ火の点かぬどんどかな	2023. 1. 14
	正月が春が飛び行く吉書揚	2022. 11. 17		高く立つまだ火の点かぬどんどかな	
	正月も春も飛び行く吉書揚			立ち上げてまだ火の点かぬどんどかな	
	正月も春も飛び立つ吉書揚	2023. 1. 12		立ち上げて神の火を待つどんどかな	
	火の中にがさりどさりとどんどかな	2022. 11. 16		高く立ち神の火を待つどんどかな	
	火の中にがさりどさりとどんど焼			高々と神の火を待つどんどかな	
	火の中のがさりどさりとどんど焼	2023. 1. 10		高立ちの神の火を待つどんどかな	
	火の中ががさりどさりとどんど焼	2023. 1. 12		高立ちに神の火を待つどんどかな	
	火の中をがさりどさりとどんど焼	2023. 1. 13		高々とまだ火の点かぬどんどかな	
	餅が飛び蜜柑投げられ吉書揚	2022. 11. 16		どんど火に一升瓶の照らさるる	2023. 1. 14
	団子焼き蜜柑を剥いて吉書揚	2023. 1. 13			
	餅を焼き蜜柑を剥いて吉書揚				
	左義長を透けて異界の人の立つ	2023. 1. 12			
	透きとほるどんどの中に見ゆるもの				
	透き通るどんどの中に見ゆるもの				
	どんど火に透けて異界の人の立つ	2023. 1. 13			
	どんど火に透けて異界の人の見ゆ				
	どんど火に異界の人の透けて見ゆ				
	どんど火に透けて揺らめく人の立つ				
	青竹の身を以て火のどんどかな	2023. 1. 12			
	身を以て青竹燃ゆるどんどかな				
	火柱の赤きささくれどんど焼	2023. 1. 12			
	どんど焼火の粉は常に新しき	2023. 1. 12			
	左義長の火の粉は常に新しき				
	左義長の火の粉次々新しき				
	左義長の火の粉あくまで新しき				
	左義長の火の粉どんどん新しき				
	左義長の火の粉ますます新しき	2023. 1. 13			
	左義長の火の粉いつまで新しき				
	左義長の火の粉ぱちぱち新しき				
	松竹に梅が枝も見ゆどんど焚	2023. 1. 13			
	どんど焼き松竹梅の煙かな				
	左義長に松竹梅の煙かな	2023. 1. 14			
	左義長の松竹梅の煙かな				
	夜空へと吸ひ上げられしどんどの火	2023. 1. 14			